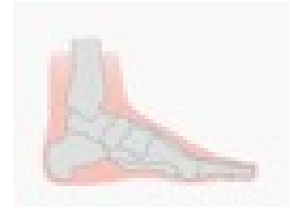


整形外科



整形外科は新生児から超高齢者の急性期、慢性期の運動器疾患の治療すべてを担当します。救急外来からの緊急入院症例や外来からの待機手術症例の検討や治療方針の決定を毎朝カンファレンスで行います。研修医はここでエックス線像やCT、MRI画像の読み方のコツや標準的な治療法を学べます。当科では年間800例の手術を実施しており、最も多い大腿骨頸部骨折、転子部骨折手術は年間250例を超えます。腰部脊柱管狭窄症、頸椎症性脊髄症、脊髄損傷、圧迫骨折の手術は内視鏡視下椎弓形成術や経皮的椎弓根スクリュー固定術(MIST)、また、人工関節(膝、股関節)、脊椎固定術は最新のナビゲーションシステムやOアーム(手術室内モバイルCT)、ハイブリッド手術室(同時2方向エックス線透視装置)を使用した最新の手術を行っており、豊富な手術症例を経験できます。

当院は三次救急、ドクターヘリ搬送を担っており、多発外傷、高度外傷が島根県全域から搬送されてきます。重症外傷の初期対応は救急救命科、総合診療科と共同で対応します。救急外来から緊急入院した症例のその後を実地で体験できるので救急外来での初期対応能力、説明能力が向上します。整形外科外来では軽症外傷や慢性期疾患(腰痛、関節痛、手足のしびれなど)、新生児二次検診や側弯症治療を見学することができます。多くの手術を経験したい人は午前午後ともできるだけ多くの手術に入ることもできますし、一般的な整形外科外来を多く学びたい方には午前中ではできるだけ外来見学を多く体験できるよう配慮いたします。手術では可能な時には骨接合のためのスクリュー固定を初期研修医に実施してもらっています。希望者は脆弱性骨折予防を目的とした骨粗鬆症治療のレクチャーを受けることができます。

総合診療科や家庭医などを目指す方や救急外来での経験をさらに深堀りしたい方、多少なりとも整形外科医志望がある方には当科での経験は有意義なものになるはずです。資格を有する整形外科専門医6名が常勤していますので指導体制も整っています。ぜひ整形外科研修を選択してください。一同お待ちしております。



島根県立中央病院